磁気探査機器等の概要・構成等

１．両コイル型磁気傾度計の原理概要

コイルの断面を横切る磁力線の変化に比例して生じる誘導起電圧を測定することにより、磁気異常物の磁力量及び位置（深度）を算出し、磁気異常物を発見する。

棒状の検知器に内蔵されたコイルを２個使用することで地球磁場の影響を相殺し、地中に埋没する鉄類や不発弾を探査する。

　　　一般性能

　　　　温度作動範囲　　　　　　　-○℃～　+○℃

　　　　耐水圧　　　　　　　　　　○kPa

　　　機器性能

　　　　検知器形成　　　　　　　　両コイル型磁気傾度計（フラックスメーター）

　　　　増幅度　　　　　　　　　　○dB

　　　　入力インピーダンス　　　　○kΩ

　　　　出力インピーダンス　　　　○kΩ

　　　　フィルター　　　　　　　　ローパスフィルター（○Hz）

　　　　電源　　　　　　　　　　　AC　　○○V

２．磁気探査機器等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請項目 | 申請番号及び識別番号 | 備考 |
| 性 能 試 験 申 請 番 号 |  |  |
| センサー 識 別 番 号 |  |  |
| 増 幅 器 識 別 番 号 |  |  |
| 記 録 計 識 別 番 号 |  |  |
| 無 線 機 識 別 番 号 |  |  |
| 検 定 用 コ イ ル 識 別 番 号 | － | 対象外 |
| 発信機識別番号 | － | 対象外 |
| 可変抵抗器識別番号 | － | 対象外 |

注１）申請番号及び識別番号は別添資料を参照して記入して下さい。

　　　　２）備考欄の入力は、単一申請、重複申請、検定機器とする。それ以外の用語は使用しないこと。

　３）申請番号及び識別番号は、半角文字、半角数値、半角記号のみを使用すること。

４）性能試験申請番号は必須項目です。記載してない場合は受理されません。

　　　　５）性能試験の内容は別添資料を参照して下さい。

　　　 ６）識別番号は、幅9mmの白色のラベル（テプラ）等に文字サイズ19ptで印字して、該当する機器に張り付けて下さい。

性能審査申請番号は、幅9mmの緑色(黒文字)のラベル（テプラ）等に文字サイズ19ptで印字して、該当する機器に張り付けて下さい。

　　　 ７）不合格になった申請を再度申請する場合は、申請番号の記号ＳをＲに変更して下さい。

３．全体構成及び申請機器一覧等

　全体構成

|  |
| --- |
| 写真はイメージです。申請する機器の写真を添付 |

　　　　注）海上探査で使用するセンサーの場合は、６本組のセンサーになりますので、センサー別に概要・構成等の資料を作成して下さい。

性能試験申請機器の全体構成

　個別申請機器

　3.1.1　 センサー

|  |
| --- |
| 写真はイメージです。申請する機器の写真を添付 |

　　 　　センサーの全景

　　　　注）海上探査で使用するセンサーの場合は、６本組のセンサーになりますので、センサー別に概要・構成等の資料を作成して下さい。

|  |
| --- |
|  |

センサーの性能試験申請番号及び識別番号の拡大写真

　　　　注１）重複申請の場合、拡大写真の該当しない申請番号は実線で見え消しをして下さい。（前年度の申請番号はラベル（テプラ）の色で区別されているので見え消しはしない。）

注２）機器の識別番号は一つです。特別の理由がなければ二つ以上は削除して下さい。

（海上探査で使用するセンサーの場合は除く。）

　　　　注３）海上探査で使用するセンサーの場合は、６本組のセンサーになりますので、センサー別に概要・構成等の資料を作成して下さい。

|  |
| --- |
| **写真はイメージです。申請する機器の対応状況がわかるように写真を添付して下さい。** |

ケーブルタグの対応状況

　　　　注１）対応状況の写真は、ラベル（テプラ）で貼り付けた識別番号の拡大写真を添付してください。ケーブルタグはセンサの識別番号のみを張り付けて下さい。（性能試験申請番号は貼り付けないでください。）

　　　　注２）海上探査で使用するセンサーの場合は、６本組のセンサーになりますので、センサー別に概要・構成等の資料を作成して下さい。

　3.1.2　仕様

　　　　センサの長さ　　　　　　　mm　　　　両端コイルの中心間距離　　　　　mm

　　　　端部コイル１の長さ　　　　mm　　　　端部コイル１の巻数　　　　　　　回

　　　　端部コイル２の長さ　　　　mm　　　　端部コイル２の巻数　　　　　　　回

　　　　注）機器に関する仕様及び説明書等があれば別途抜粋して添付する。

　3.1.3　製造及び型式（メーカー製品、自作機器の区別を明記）

　　　　製造：　　　　　　　　　　　　　　型式：

　　　　　機器の使用開始年：

3.2.1　増幅器（増幅機能併用無線機の場合も、ここに記載して下さい。）

|  |
| --- |
| 増幅器の全体写真を左側に添付、性能試験申請番号及び識別番号の拡大写真を右側に添付して下さい。 |

増幅器の全体写真と番号の拡大写真

　　　　注１）重複申請の場合、拡大写真の該当しない申請番号は実線で見え消しにして下さい。（前年度の申請番号はラベル（テプラ）の色で区別されているので見え消しはしない。）

注２）機器の識別番号は１個の機器に対して一つです。特別の理由がなければ二つ以上は削除して下さい。（海上探査で使用するセンサーの場合は除く。）

3.2.2　仕様

　　　　（主な仕様を記載して下さい）

　　　　注）機器に関する仕様及び説明書等があれば別途抜粋して添付する。

3.2.3　製造及び型式（メーカー製品、自作機器の区別を明記）

　　　　製造：　　　　　　　　　　　　　　型式：

機器の使用開始年：

3.3.1　記録計

|  |
| --- |
| 記録計の全体写真を左側に添付、性能試験申請番号及び識別番号の拡大写真を右側に添付して下さい。 |

記録計の全体写真と番号の拡大写真

　　　　注１）重複申請の場合、拡大写真の該当しない申請番号は実線で見え消しにして下さい。（前年度の申請番号はラベル（テプラ）の色で区別されているので見え消しはしない。）

注２）機器の識別番号は１個の機器に対して一つです。特別の理由がなければ二つ以上は削除して下さい。（海上探査で使用するセンサーの場合は除く。）

3.3.2　仕様

　　　　（主な仕様を記載して下さい）

　　　　注）機器に関する仕様及び説明書等があれば別途抜粋して添付する。

3.3.3　製造及び型式

　　　　製造：　　　　　　　　　　　　　　型式：

　機器の使用開始年：

3.4.1　無線機（送信機及び受信機は、Data転送用の無線機能のみ記載して下さい。増幅機能併用

無線機は3.2.1の増幅器に記載して下さい。）

|  |
| --- |
| 無線機の全体写真を左側に添付、性能試験申請番号及び識別番号の拡大写真を右側に添付して下さい。 |

無線機の全体写真と番号の拡大写真

　　　　注１）重複申請の場合、拡大写真の該当しない申請番号は実線で見え消しにして下さい。（前年度の申請番号はラベル（テプラ）の色で区別されているので見え消しはしない。）

注２）機器の識別番号は１個の機器に対して一つです。特別の理由がなければ二つ以上は削除して下さい。（海上探査で使用するセンサーの場合は除く。）

3.4.2　仕様

　　　　（主な仕様を記載して下さい）

　　　　注）機器に関する仕様及び説明書等があれば別途抜粋して添付する。

3.4.3　製造及び型式

　　　　製造：　　　　　　　　　　　　　　型式：

機器の使用開始年：

４．性能試験実施者

　　性能試験は、試験機関の性能試験技術員の指示に基づき、審査機関の派遣する性能試験員の立会確認のもとに実施することになっています。

性能試験における試験実施は、原則として、申請者から派遣された技術員等が行うので、以下に試験実施者を記入して下さい。（試験実施責任者、機器操作、センサー移動担当者の４人から６人程度が必要）

記録計操作担当者及びセンサー移動担当者は、磁気探査技士の資格保有者または実務経験者(大学卒６年以上、短大・高専・専門卒が８年以上、高校卒が１０年以上、左記以外は１５年以上)が実施することになりました。記録計操作担当者及びセンサー移動担当者は磁気探査技士認定証の写し（表と裏）を以下□内に張付けて下さい。（原則３名ですが、補欠として追加する場合は適当に張付枠を複写して添付して下さい。）

記録計操作担当者及びセンサー移動担当者を実務経験者として申請する場合は、会社証明の履歴書（履歴書は様式指定です。様式－２(履歴書)を使用して下さい。）を添付して下さい。

注）センサー移動担当者として、磁気探査技士の資格保有者または実務経験者を３名以上配置できない場合は、その旨を明記して試験機関と相談して下さい。

試験実施者の氏名及び実務経験年数等

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 生年月日 | 磁気探査実務経験年数 | 備　　考 | 試験参加者 | |
| 内 | 外 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

注１）試験参加者の内、外の覧は、性能試験当日に、試験実施責任者（または申請者）が該当者にレ点を記入して、性能試験責任者に報告して下さい。申請書類提出時は空欄とすること。

注２）試験参加予定者の人数に応じて、表を削除または追加して資料を作成して下さい。

注３）会社証明の履歴書を添付した場合は、履歴書の実務経験年数を記入して下さい。

磁気探査技士認定証の写し（表と裏）貼り付け欄

|  |  |
| --- | --- |
| 磁気探査技士認定証（表）Ａ | 磁気探査技士認定証（表）Ｂ |
| 磁気探査技士認定証（裏）Ａ | 磁気探査技士認定証（裏）Ｂ |

注）センサー移動担当者は、原則３名ですが、補欠として磁気探査技士の資格保有者を追加する場合は適当に張付枠を複写して添付して下さい。

５．試験申請と機器保有状況　　　　　　　　　　　　　　（平成○○年○○月　単位：台）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 大型  センサー | 小型  センサー | センサー小計 | 増幅器（無線機能併用を含む） | 記録計 |  | 無線機(Data転送用のみ) |
| 申請予定 |  |  |  |  |  |  |  |
| 保有状況 |  |  |  |  |  |  |  |

　　注１）機器保有状況は、申請日時点における保有台数を記入して下さい。該当しない機器は「－」を記入して下さい。

　　　２）申請予定は、今回の各機器の申請予定台数を記入して下さい。

　　　３）申請予定の備考には、「センサー、増幅器、記録計(無線機)」の申請するケースの予定数を記入して下さい。

　　　４）検定用コイル（空芯単巻ソレノイド）及び現場用感度調整コイルの性能試験は対象外です。

６．申請番号と識別番号の取り扱い

　１）添付資料機器の写真は、性能試験申請番号を張り付けてから撮影して資料に張り付けて下さい。

　２）識別番号は機器に一つの番号です。（海上探査で使用するセンサーの場合は除く。）

特別の理由がない限り、毎回張り付ける必要はありませんが、新規機器を購入した場合は識別

番号を決定して張り付けて下さい。

７．別添資料（報告）の作成にあたっての注意事項

　１）この資料は資料作成の参考として作成したもので、必要に応じて追加・修正をして下さい。

　２）３．全体構成及び申請機器一覧等は、試験申請機器のみを作成して下さい。該当しない機器の項目は削除して下さい。

　３）性能試験実施者の申請人数は、貴社で判断して記入申請して下さい。試験当日、性能試験責任者に参加者の氏名、人数を報告して下さい。

　４）５．試験申請と機器保有状況の申請予定の欄は、今回の総申請件数を把握するための調査です。

　５）申請機器について、主な仕様が記載されていない場合は申請書類が受理できませんので注意して下さい。

　６）この性能試験申請書は、提出用３部を作成して各機関へ提出して下さい。審査機関（沖縄しまたて協会）には押印された正の申請書類１部、押印なしの副１部を提出して下さい。

　沖縄県磁気探査協会には押印なしの副の申請書類１部を提出して下さい。

　７）申請者は押印なしの控え１部を作成して下さい。性能試験を受ける場合は必ず、この申請書類の控えを持参して下さい。持参しない場合は、性能試験が保留される場合があります。